

NIMBY を払拭するのは難しくて、一步一步、少しずつ

まちから精神病院をなくす

古瀬 敏（静岡文化芸術大学名誉教授）

精神病院入院というのはおかしい、入院しなくても大丈夫なのでは？ それぞれの「患者」が病院の外でできることを考えて、そこに当てはめていく。ゆっくりとすすめていけば、入院病床はほとんどいらなくなる、ほんの少しの緊急入院用を除いては。

これが長野さんがやってきたこと。

まち（コミュニティ）、そしてそこに暮らしている人々と信頼関係を築いていくと、いわれのない精神病患者への偏見があまり表に出ないで済むのだろうか。ほとんどのところでは精神病患者は病院に入院させろとか、少なくとも近くに住んでいてほしくないと思っていて、入院しなくてもいいようになっても住むところがなかなか見つからないから退院できないという。長野さんはいろいろな手を尽くしてなのかどうか、できる限り退院できるようにしている。

しかし、それができているのは自身の自治体だけで、他には広がっていないという。NIMBY を払拭するのは難しくて、一步一步、少しずつ進むしかなさそう。

